



kirari

きらり いわた人

タンブリング日本代表
すぎうら ゆめな
杉浦 夢菜 さん

市内在住。静岡産業大学のSSUアルムナイ・アスリートチームに所属し、SSUスポーツアンバサダーとして活動。2026年5月から磐田市の地域おこし協力隊に就任。「SPO☆CUL IWATA」の魅力発信やニーズ調査、指導者の発掘に取り組んでいる。

タンブリングを始めたきっかけ

小学生の頃から器械体操をはじめました。中学生から静岡産業大学のスポーツクラブに通い、同じ体育館で練習する先輩がタンブリング(※1)をやっているのを見て、自分もやってみてと思い始めました。

タンブリングの魅力は、そのスピード感と体操競技にはあまりない空中技の連続、大技を繰り出すダイナミックさです。

印象に残っている試合

昨年の9月にフランスで行われたワールドカップの個人部門で、初めて決勝進出を果たし、過去最高の6位入賞を果たすことができたことです。この決勝の舞台で自分らしく満足のいく演技をすることができ、さらに上を目指そうという決意をすることができました。

世界選手権への決意

世界選手権が11月にあります。日本代表として、個人・団体ともに決勝進出することが目標です。また、試合で良い結果を出し、国別対抗のオール・アラウンド(※2)のメンバーに選ばれるよう頑張ります。

今挑戦していること

「抱え込み後方3回宙返り」という大技があります。この技ができる女子選手はまだいません。この技を大会で決めることが目標です。

地域おこし協力隊の活動

大学時代から子どもたちの指導に携わる中で、卒業後も子どもたちに夢や目標を届けられる仕事がしたいと思ったこと、今までお世話になった磐田市に貢献したいという思いから、地域おこし協力隊の活動を決意しました。現在は主にSNSの運用などの広報活動を行っています。中学生とつながり、指導の経験と人脈を活かして地域のスポーツ活動を活性化させたいと思っています。

市民の皆さんへメッセージ

たくさんの方の応援をありがとうございます。タンブリングの選手として、また地域おこし協力隊のコーディネーターとして、地域を元気にし、子どもたちに夢を届けたいと思います。

※1 タンブリングとは、一直線を8個の跳躍技を組み合わせて、難しさや完成度を競うトランポリン競技の一種です。
※2 オール・アラウンドとは、トランポリン競技のトランポリン、ダブルミニトランポリン、タンブリング3種目の総合国別団体戦です。